

2009 年度 父母連第 9 回代表者会報告(2 月)

2010 年 2 月 13 日 (土)

司会：青木 記録：阿部

【出席】

あおやぎ あさひ あずま きたうら きたや こやま さかえ
しのは しんえい しんぜん せざき たかさご にしまち ひかわ
やつか やつかかみ やなぎしま やはた 第 2 きたうら
父母連事務局 (高山、阿部、青木、段) 欠席：保育部会

【配布物】

①レジュメ (各園 2 部) ②父母連ニュース (世帯配布)

【提出物】

③草加高校定時制廃止反対署名 ④保育制度を守る全国署名

※冒頭「第 20 回草加市教育懇談会」開催についての説明：民主教育をすすめる草加市民会議 金井先生
→会議出席の代表者に、懇談会への話題提供についてのアンケート記載をお願い

1. 報告事項

(1) 父母連としての活動報告

1/30 (土) 第 18 回草加子育てのつどい実行委員会 (於：市民体育館会議室)
1/30 (土) 父母連事務局会 (於：市民体育館会議室)
2/8・9 (月・火) 子育て支援センター内覧会出席 (事務局：浜菌・青木)
2/12 (金) 印刷作業 (於：谷塚文化センターワーキングルーム)
2/13 (土) 第 9 回代表者会 (於：氷川コミセン)

(2) 市長懇談会回答書・0 歳児保育施設の整備方針について

1 月中旬に保育課から回答書が届き、同時に「草加市における 0 歳児保育施設の整備方針」が届きました。これについては草加市ホームページにも PDF で掲載されているのでぜひ見てください。→現場の保育士も「初めて見た」とのこと。

<http://www.city.soka.saitama.jp/ct/other000015900/houshin.pdf>

○市長懇談会回答書について

- ・概ね市長懇談会での内容の通りでした、気になる点がいくつかありましたので列記します。
 - ①家庭保育室と同等程度に「小規模認可保育所」も 0 歳児の受け皿として明記
 - ②整備計画→柔軟な変更可能な「整備方針」へと変更、また詳細な整備方針を作った→「計画」として年度ごとに決定をしていくものではないことを強調
 - ③家庭保育室における育成保育を「対応できる」としている
 - ④育成保育のために「一部公立保育園に 0 歳児クラスを設けることを検討」としている
 - ⑤旧あずま保育園用地売却は、新あずま保育園建て替えに際して「市民に約束したこと」としている
 - ⑥0 歳児の移行による具体的な受け入れ数増のモデルケースを明記→100 人定員の保育園で 105 人に
 - ⑦耐震診断の予定はなし、ただしやつか保育園の建て替えを明言
 - ⑧定員弾力化については、最低基準を遵守しながら行っていくと明言
 - ⑨全園延長保育は待機児対策のために遅れていると釈明
 - ⑩完全給食については従来からの回答通り、待機児対策のためにすぐに実現できないとのこと

○0 歳児保育施設整備方針について

- ・この整備方針とはこれまでの「整備計画 (素案)」から柔軟に変更・対応が可能な「整備方針」へ変更したものだそうです。これについてもいくつか気になる点がありました。
 - ①最終整備目標年度を平成 26 (2014) 年としている
 - ②育成保育のために公立保育園の敷地内に 0 歳児クラスを設けることを明記
 - ③計画年度内に小規模認可保育所が整備された場合には、当該保育所に設置される 0 歳児クラスの定員数を、当該地域に整備予定の家庭保育室の定員数から減員する (つまり家庭保育室と小規模保育所は同じに扱う)
 - ④家庭保育室の設置基準・運営基準は概ね従来通り
- ※ただし、次年度 4 月入室は市役所で申し込みを行うようだ (市ホームページより)
- <http://www.city.soka.saitama.jp/hp/page000017100/hpg000017019.htm>

- ⑤設置場所は核となる保育園から 300m以内、保育園から 100m以上離れる場合は近隣 100m以内に公園や空き地等があることが条件
- ⑥新たに家庭保育室の開設を希望する者に対して、開設前に公立保育園で実習を行う
- ⑦市主催で家庭保育室保育従事者を対象とした研修会を行う
- ⑧公立園と家庭保育室合同で「健康診断」「おたのしみ会」「クリスマス会」を行う（健診は無料となる）
- ⑨公立園の園庭、プール、遊具は共同で利用する
- ⑩公立園での職員会議や研究会に家庭保育室の保育従事者が参加する
- ⑪家庭保育室の在室児や保護者が疾病・けがの場合における保育料の減額・減免の導入
- ⑫家庭保育室でのミルク代を無料とする
- ⑬4 月入室児の健康診断代を無料（保育園で合同実施）
- ※⑭2ヶ所送迎支援：各園 3 人から 6 人を上限として、近隣の家庭保育室への優先的な入室を市が斡旋
- ※⑮家庭保育室を退室時（年度途中退室を除く）以降の保育園入園を確定
- ⑯年度当初定員割れの場合に家庭保育室へ補助を行う

※この 2 つについては、まだ事務局内で十分に読み込んで中身の検討がなされていません。しかし問題点はいくつもあるのは明らかですので、それらを抽出して市側へ質問や問題提起していく必要があると思っています。論点を整理してまた代表者会で諮りたいと思います。

※各父母会においても、中身の周知と問題点の洗い出しをぜひお願いします。ご意見等ありましたら父母連メールにてお寄せいただければ、代表会における検討に反映させていきたいと思っています。

2. 協議事項

(1) 3月代表者会会場について

年度末ということもあり、3月の会場はどこもいっぱいです。特に年度当初予定指定した3月第2週の土曜日はどこもいっぱいでした。そこで3月の代表者会を「3月の第1土曜日」に変更したいと思います。

・3月代表者会 3/6(土) 10:00~12:00 勤労福祉会館視聴覚室（保育は第3会議室）

なお年度当初の予定から変更となりますので、どうしても参加できない園がありましたら、別途メール等でご相談ください。資料等の引き渡しについてご連絡します。

(2) 第18回草加子育てのつどいについて

※いよいよ明日です！たくさんのご来場お待ちしております（保育予約なしでも受け付けます）。

■2/14（日）10:00~12:00 勤労福祉会館、保育はあさひ保育園舎

■講演会：黛 秋代 先生（東久留米市保育園園長）

■子ども向け企画：猿まわし

※おてつだい園（やつか・やつかかみ・やなぎしま）集合時間は 9:00~です。軍手等があるとよいかもしれません、お手伝いのしのは保育園については片づけ担当

(3) その他

- ・各園総会資料に差し込んでもらう「こんにちは父母連です」については3月代表者会で世帯数配布
- ・3月代表者会会場
 - ・3/6(土)（勤労福祉会館視聴覚室、保育第3会議室）

3. 各園の父母会より

■しんえい：特になし

■しんぜん：特になし

■きたうら：夏場完全給食を園として実施し、月540円で給食代を徴収した。余剰金をどうするか？が問題となり、アンケートをとった結果、各クラスにおく避難靴を購入することになった。

■せざき：0歳児保育施設方針について。下の子を家庭保育室、上の子を公立園に入れている。下の子を公立園に入園させたいが、3月中旬にならないと、公立園に入れるかどうか？がわからない。するとその時期から新たに保育園の探すのは大変である。新整備計画のように、兄弟がいる場合には、優先して公立園に入れると良い。

■やつかかみ：特になし 来週月曜日からの各クラスの懇談会にて、新保育制度の紙芝居を読もうと思っている。

■あおやぎ：子育てのつどいのお手伝いスタッフの動き方について伺いたい。→事務局より回答。

■やはた：進級祝いの品を検討しているが、何かおすすめは？

■ひかわ：個人的に困ったことがあった。半年過ぎて公立園の0歳児クラスに年度途中で入ることができたが、0歳は4時半にお迎えであり、大変に困った。家庭保育室では、6時頃まで保育をしていただいていた。なぜ、公立園は無理なのか？進級祝いにとして、給食時に使えるコップや巾着などを考えている。

事務局：市は、家庭保育室ではアットホームな雰囲気のもとで0歳児にも無理なく保育ができるが、公立園での縦割りで

集団保育には無理があるため、時間外や延長保育を希望する方は、家庭保育室への入室をしてください、との回答である。

■こやま：進級祝い品は、カタログを見てクラスごとに役員が選んで贈っている。

■さかえ：新園舎が完成したので、内覧会に参加した。3月の連休辺りから引っ越しを行う予定。新さかえ保育園は大変にきれいな施設である。だが死角がたくさんあるので、保育上支障が生じるのでは？との危惧がある。新園舎に移るが、園長が退職してしまうのが残念。新駐輪場ができるのが1年後なので、駐輪場から新園舎まで徒歩で移動しなければならない。旧園舎の取り壊しがあるため、今後子供たちの保育環境に悪い影響が出ないように要望していきたい。また、現在の「思い出のぶどうの木」を残してほしいと思っている。

0歳児の申請については、2月20日頃に結果が出る予定。公立園に入れなければ、2月26日まで家庭保育室の第1次申請なので、まずは家庭保育室を見学してほしいとのこと。しかし1歳児なので、家庭保育室は0歳児が優先なので、入れない可能性もある。もし1歳児で家庭保育室に入れても、慣らし保育が大変である。その大変さを保育課の方にもわかってほしい。0歳児の申請がいっぱい。無理と思われる家庭には市から連絡がきている。しかし家庭保育室では土曜保育をしていないこともある。入園者は決まっている、という回答をする家庭保育室もある。矛盾が見られる。父母同士でも色々な情報が飛び交っている。

事務局：まだ確定した保育園入園通知が郵送されていない現況において、すでに入園できない家庭に市の保育課からは連絡がいつている、との情報が入っている。土曜保育については、制度上は保育実施をしてもらうことになっている。が家庭保育室連絡会はあるが、すべて足並みを揃えて土曜保育を一斉に行うことには至っていない。家庭保育室自体が今までは、先着順だったが、来年度の入室から市に直接申し込む方法に変わったため、まだ家庭保育室に徹底されていない、もしくはその新たな制度が決まった11月以前にすでに妊娠中から申し込みをしている方がおり、予約でいっぱいとの回答があったのかもしれない。

■やつか：進級祝い品は先生に必要なものを伺い、それを参考に

■第2きたうら：移園先がわかるのは、2月末である。第3希望まで移園先をきいてもらっている。トラブルが

■しのは：進級祝い品は、配っていない。運動会とお楽しみ会では贈っている。お楽しみ会では発表内容にちなんだ品を贈るようにしている。

■にしまち：進級祝い品は、各クラスの役員が年齢に応じたものを選んで贈っている。

■やなぎしま：進級祝いは、図書券になった。

■あずま：インフルエンザが流行っており、自s y副登園があった。本や遊具を贈っている。在籍は112人？それからは増えていないと思う。

■たかさご：進級祝いはない。4月から家庭保育室に入室を希望している。0歳児の入園申請が多いと思うので、公立園とたかさごは第2金曜4時から6時役員会を行っているが、役員が保育を行っている。毎回出席できない人がいる。他園の状況を参考にしながら、土曜や金曜の夜の開催も検討していきたい。

■あさひ：2月6日お楽しみ会を行った。2部制で行われたが、各クラスの子どもたちの成長が見られた。

■きたや：進級祝いについては、先生と相談の上、決めている。駐車場問題があったので、新役員決めに関しては、駐車係(当番?)のような新たな係を設けようと検討中である。

4. その他

母親大会要望集会について

草加市母親大会として市への要望集会があったが、連絡がうまく行かず、父母連事務局としての要望をあげることができなかった。代わりに学童保育の会の事務局に所属する保育園保護者(学童の方で要望集会に参加していた)から要望項目の説明があった。保育園の建て替えや増築、民間による477名の待機児が出てきている現状で、具体的な対策を質したところ、市側の説明は以下のようなものであった。

①20年度は80名120定員120名、新さかえ保育園を定員150名と増員している。この2年間でも家庭保育室も増室しているとのこと。

②市長懇談会において「0歳児保育の廃止は、待機児が解消されない限りしない」と明言している。

③家庭保育室は何十か所増室させているか？保育園の地域として公募していく。

④市として民間の保育園の施設を誘導していく予定である。民間の保育園設置を募集していきたい。

※交渉終了後、石川課長補佐と立ち話、公立から0歳児保育を0歳児保育を継続してほしい旨を伝えた。

事務局：市は人口動態としては子どもがどんどん減ってきているが、保育ニーズは上がってきている。幼稚園が定員割れとなるだろう。幼稚園経営者による保育園経営などの方向性も市は頭に置いていると思う。預かり保育は行っているため、一番の問題は長期休業中の保育についてである。それについても、

子育て支援センター、新さかえ保育園内覧会への参加報告(父母連事務局)

相談室として3階に個室が8つ。狭いスペースに作られていた。まだ、専門医やスタッフの準備が整っていないそ

うだ。駐車場に身体障害者用の駐車場が2台分あったが、足りるのか?とてもきれいな施設だが、複合施設なので、3階から保育園までつながっている。そのため非常階段を使って外部者が簡単に保育園に入れる造りになっている。また死角が多く、保育に支障が出るのでは?との懸念がある。

5. 今後の予定

- ・2/14 (日) 第18回草加子育てのつどい (勤労福祉会館)
- ・2/21 (日) 民主教育を進める草加市民会議主催教育懇談会「子どもの荒れを考える」 13:30~谷塚文化センター
- ・3/6 (土) 第10回代表者会 (勤労福祉会館視聴覚室、保育:第3会議室)